

## 演習問題

「得点できたかどうか」「○か×か」ではなく、問題文を読んだ時に、「その関連の知識が、頭の中にどう収納されているのか、フォーカスポイントはどこか」を簡単に**余白に描き出して**みてください

### R03 ウラ模試 1

[No.4] 伝熱・結露に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 外壁の熱貫流率は、外壁と屋根や床等との取合い部における熱伝導を考慮しない場合、一般に、構造体の室内側で断熱しても、室外側で断熱しても等しくなる。
2. 外壁を構成する各部材の熱伝導抵抗が小さくなると、一般に、熱貫流率は小さくなる。
3. 外壁表面の放射率が小さくなると、一般に、熱貫流率は小さくなる。
4. 屋外の風速が大きくなると、一般に、熱貫流率は大きくなる。

[No.6] 日照・日射・採光に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 北緯 35 度の地点における冬至の日の終日日射量は、南向き鉛直面より西向き鉛直面のほうが小さい。
2. 窓面における日照・日射の調整のために設けるルーバーは、一般に、南向き窓面には水平のものが、西向き窓面には垂直のものが有効である。
3. 一般的な透明板ガラスの分光透過率は、可視光線の波長域より赤外線の高波長域のほうが小さい。
4. 日射遮蔽係数は、3mm 厚の普通透明ガラスの日射遮蔽性能を基準として表した係数であり、その値が小さいほど日射熱取得が大きくなる。

### R03 ウラ模試 2

[No.5] 伝熱に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 室内において、自然対流熱伝達率は、熱の流れる方向と室温・表面温度の分布によって変化し、室温が表面温度より高い場合、床面より天井面のほうが大きな値となる。
2. グラスウールは、一般に、かさ比重が大きくなるほど熱伝導率は小さくなる。
3. 住宅における外壁の内部結露を防止するため、断熱材の室内側に防湿層を設けた。
4. 単層壁の熱伝導抵抗は、同一の材料で壁の厚さを 2 倍にしても 2 倍にはならない。

[No.8] 日照・日射に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 受照点に対する光源面の立体角投射率は、その光源面が曲面の場合においても算出できる。
2. 「快晴の青空」における設計用全天空照度は、「特に明るい日（薄曇）」の 1/5 程度である。
3. 北緯 35 度の地点における南向き鉛直壁面の 1 日の可照時間は、春分の日及び秋分の日が 12 時間で最長となり、夏至の日が最短となる。
4. 昼光率は、直接昼光率（窓面から受照点に入射する直射日光による昼光率）と間接昼光率（窓面から受照点に入射する天空光による昼光率）との和で表す。